

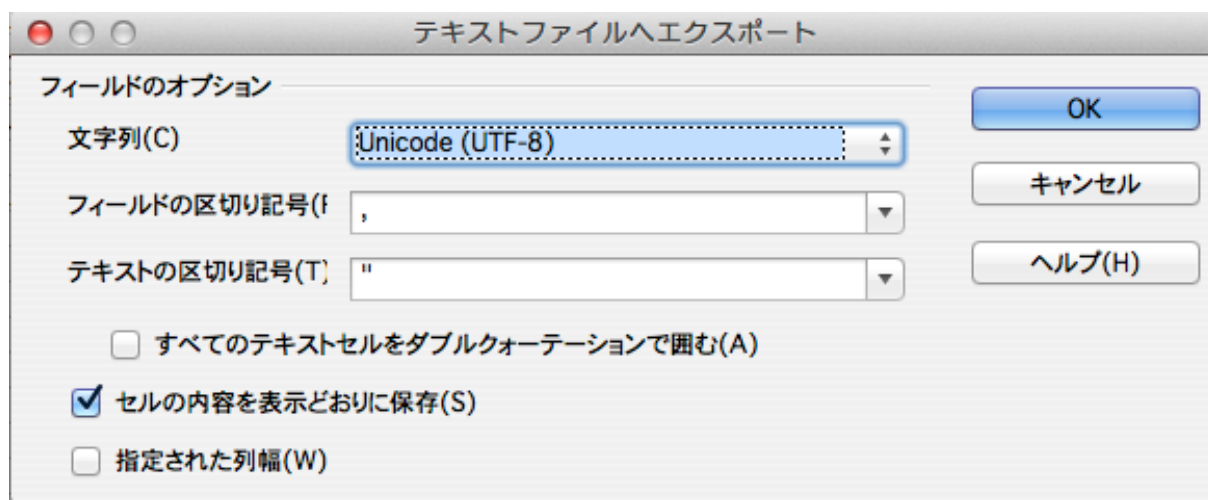
オプション：OpenOffice.org を使う

自宅の PC にはエクセルが入っていないくて、OpenOffice.org を使っているというケースがあることを耳にしました。OpenOffice.org はフリーのソフトウェアで、表計算機能もあります。エクセルやワードなどとの互換性もあることで耳にしたこともあるかもしれません。

エクセルの代わりに OpenOffice.org の表計算を使ってもできます。ただ、いくつかポイントがあるようなので、初心者向けにやってみた情報提供をしておきます (OpenOffice.org のバージョンは 3.41 です)。

### ●csv 形式での保存

エクセルの代わりに OpenOffice.org の表計算を使ってデータ入力をした場合、csv 形式で保存する際に少し注意が必要です。csv 形式で保存するには、メニューバーの「ファイル」から「名前を付けて保存」を選び、「ファイルの種類」で「テキスト CSV(.csv)」を選んで「保存」ボタンをクリック。すると、ODF 形式でなくてもよいかと尋ねてくるので、「選択した書式を保持」を選択します。すると以下のようなウインドが開きます。



このままでも良いのですが、今回の資料にそってやるなら、文字列の選択肢から「日本語 (Shift\_JIS)」を選んでおきます。こうしておけば5日目に紹介した読み込みの命令 `x <- read.csv("練習.csv", header=TRUE, fileEncoding="CP932")` で文字化けすることなく読み込めると思います。

もし文字列をそのまま (図にあるように Unicode(UTF-8)のまま) にして保存したなら、Rでの読み込み命令のエンコードの部分以下のように修正しておきます。

```
x <- read.csv("練習.csv", header=TRUE, fileEncoding="UTF-8")
```

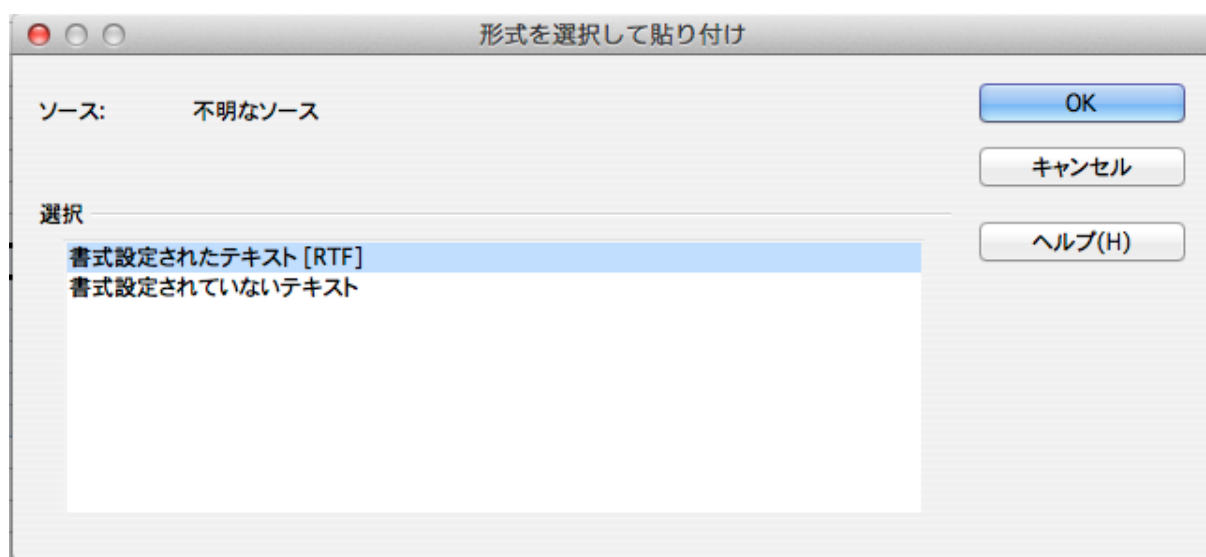
なお、21日目に紹介したコピペでRにデータを持ってくる場合は、どちらでも大丈夫そうですが、日本語が文字化けするようなら `fileEncoding=`の部分を変えてチャレンジしてみてください。

自宅のPCで作業し、また別のところでエクセルに読み込ませて作業し…というような場合なら、「日本語 (Shift\_JIS)」を選んでおく方がよいと思います。Unicode(UTF-8)のままです保存した csv ファイルをエクセルで普通に開くと日本語が文字化けしますので。

### ●Rの出力のコピペ

8日目で紹介した、Rの出力をエクセルに簡単にコピペする方法について、OpenOffice.orgの表計算でも似たようなことができます。区切り方は、エクセルの「テキスト ファイル ウィザード」の方が賢いようですが…

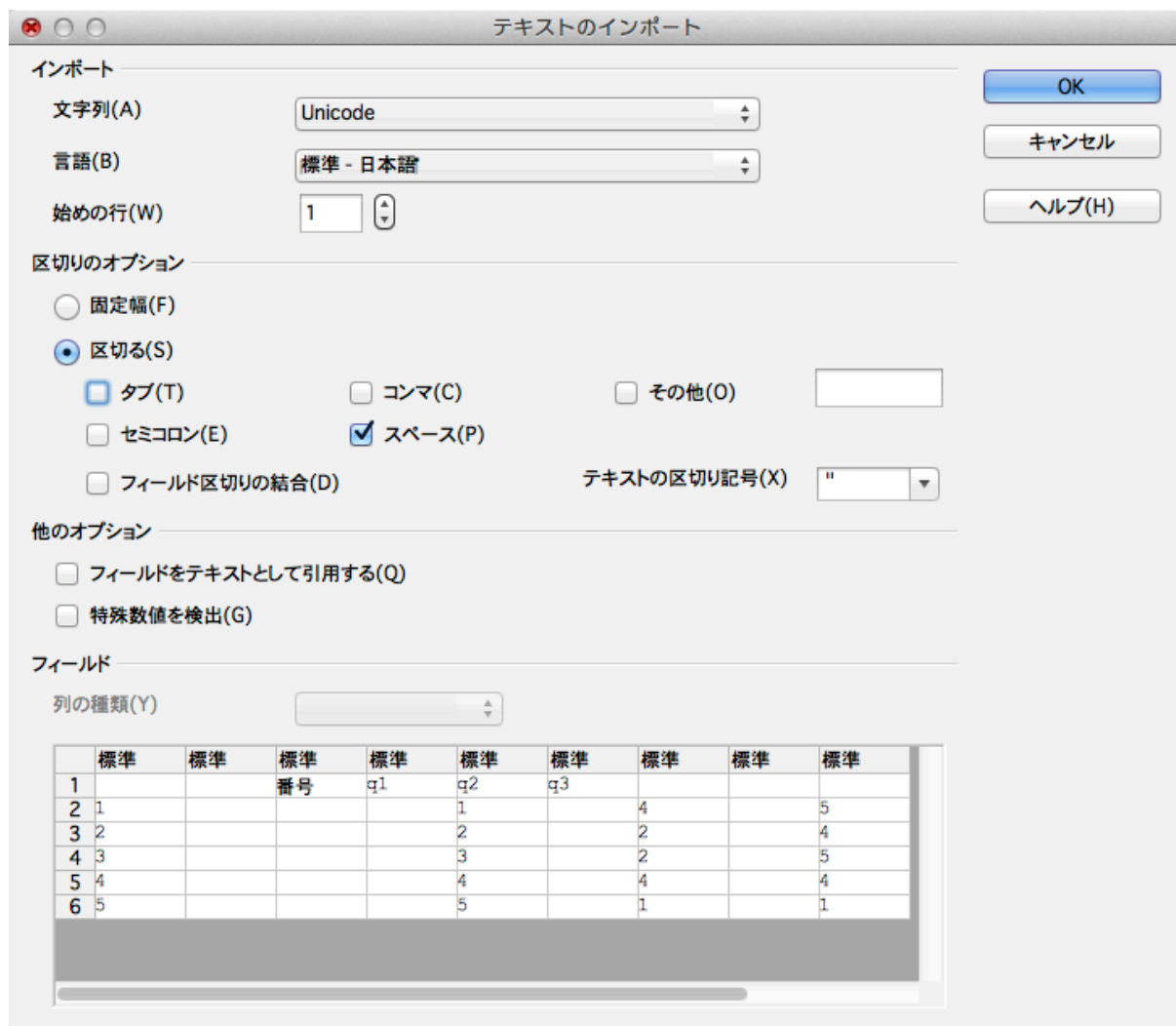
やり方は、Rコンソールからコピペしたい部分を選択してコピー。OpenOffice.orgの適当なセル（表の左上になる部分）を選択し、メニューバーの「編集」から「形式を選択して貼り付け」を選びます。すると以下のようなウインドが出てきます。



ここで「書式設定されていないテキスト」を選択して「OK」。

するとまた新しいウインドが開きます。ここで以下の図のように「区切る」の部分のチェックを「スペース」にします。すると、適当に区切ってセルを分けてくれます。

後は「OK」を押して確定し、OpenOffice.orgで体裁を整えましょう。



## ●VLOOKUP 関数

12日目に紹介した、因子分析の結果をエクセルにコピペして変数名を並び替えて見やすくする方法ですが、これは問題なく OpenOffice.org でもできます。

関数自体もまったく同じなので、`=VLOOKUP(C1, $A$1:$B$20, 1, 0)`というように、エクセルと同じ命令を書いてやれば大丈夫だと思います。

OpenOffice.org をはじめてさわってみました。図形描画もできるし（パス図が簡単に描けそう）結構使いそうな感じがしました。もちろんマイクロソフトの Office の方がいろいろできると思いますが、これも一考に値するのではないのでしょうか（<http://www.openoffice.org/ja/>）。